

の開発に取り組んだ。

○ 開発のポイント

- ① 利用者からの情報提供の効率化
 - ・操作性
 - ・簡易性
- ② 管理者の情報整理作業の効率化
 - ・自動登録
 - ・自動表示
- ③ 見やすく使いやすいレイアウト

- ・ Microsoft Word
- ・ Microsoft Excel
- ・ Microsoft Access
- ・ Adobe PhotoShop
- ・ その他

○ 各領域

美術科の4領域、絵画、彫塑、工芸、デザインに加え、版画、鑑賞の分野も独立させ、項目をクリックするとその領域の内容を示すページへリンクするようにする。また一覧表示も用意する。

○ 画像一覧

生徒作品等の画像データを一覧、または単票形式で選び、表示できるようにする。

イ 各領域「○○の部屋」

各領域の内容を一覧できるページで、題材名、作品例（画像）を提示する。「指導の実際」の項目をクリックするとその指導法や作品例などの詳細のページへリンクする。

ウ 詳細

指導案、作品写真、解説等、その題材ごとに詳しい内容を掲載する。

◎ トップページ

○ メニュー「Room」

- ・ 絵画
- ・ 版画
- ・ 彫塑
- ・ デザイン
- ・ 工芸
- ・ 鑑賞
- ・ リンク
- ・ 一覧表示
- ・ ホームページ作成のすすめ
- ・ 情報募集
- ・ メール

◎ 各領域「○○（領域名）の部屋」

- 題材紹介
 - ・ 題材名
 - ・ 児童生徒作品例（画像等）
 - ・ 指導の実際アイコン

III 研究計画

年 月	研究計画・内容
9. 4	ネットワーク利用の研究
5	ホームページ作成ソフトの研究 ホームページデザインの研究
6	ホームページ作成開始
8	掲載美術資料の検討
9	美術資料の収集
10	所内ネットワークに発信
11	随時更新
10. 2	9年度研究のまとめ
4	ホームページ運営の改善策の検討
5	ホームページデザインの再検討
7	CGIプログラムの研究
9	画像転送システムの開発開始
10	画像転送システムの実験
11	画像転送システムの完成
12	所内ネットワークに発信
11. 2	10年度研究のまとめ

IV 開発の実際

1 ホームページ「美術の窓」の作成

① 構成

ア ホームページ「美術の窓」

○ 使用ソフト